

国  
語  
問  
題  
用  
紙

次の文章を読んで、下の(一)～(五)の問いに答えなさい。

(一) 上の文章中の(1)——(3)の片仮名の部分を漢字で書きなさい。

(二) さらに、という言葉を繰り返すことにより表現している主税の心情として、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

1 母がオーストラリアの鳥について詳しく知らないのでいらだっている。

2 兄が荷造りに夢中で全く自分の話を聞いてくれないため焦っている。

3 オーストラリアに行けなくなったことに対し不満をもち続けている。

4 鎌倉行きを納得しているかのようには振る舞う兄を不安に思っている。

(三) ア やれやれという顔をしたが、何も言わなかったとあるが、この時の「お母さん」の心情として、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

1 主税の態度は頼もしいが、鎌倉の大叔父の所へ行かせることは心配でもある。

2 主税の態度に怒りを感じたが、荷造りが終わってから叱ろうと我慢している。

3 主税の態度に困り果て、五年生なのに聞き分けのないことばかりしている。

4 主税の態度にあきれながらも、オーストラリアに行けないことに同情している。

(四) 兵吾はお母さんがそこにいるのも忘れて、大きなため息をついたとあるが、兵吾がため息をついた理由を、四十五字以上、五十字以内で書きなさい。(句読点を含む。)

(五) 国語の授業で上の文章を読み、「兵吾」の人物像について考えることになった。グループで話し合う前に、まず、自分の考えをノートにまとめた。次はある生徒の【ノートの一部】である。  
【ノートの一部】に入る「兵吾」の人物像の根拠となる部分が、上の文章には何箇所かある。そのうちの一つを、上の文章から一文で抜き出して、その初めの五字を書きなさい。

【ノートの一部】

〈「兵吾」の人物像〉

自分の本心をあまり言葉や態度に表さない人物だと思った。

○根拠となる表現

二 次の文章を読んで、下の(一)～(五)の問いに答えなさい。

(一) 上の文章中の(1)――(3)の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

(二) 上の文章中のAとBに入る言葉の組み合わせとして、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

- |   |   |     |   |      |
|---|---|-----|---|------|
| 1 | A | そして | B | なぜなら |
| 2 | A | しかも | B | もちろん |
| 3 | A | ただ  | B | たしかに |
| 4 | A | もし  | B | たとえば |

(三) ア 「何が言いたいのか」がはっきりと相手に見えなければなりませんとあるが、言いたいことがはっきりと相手に見えるようにするために、何をする必要があるかと筆者は述べているか。それについて述べた次の文中のBに入る内容を、四十字以上、四十五字以内で書きなさい。(句読点を含む。)

ただし、「情報」「立場」「語る」という三つの言葉を用いること。

まず「情報の収集を」と考える自身の発想を疑って、Bのこと。

(四) 対話 とあるが、対話とは何かを具体的に説明している部分を、上の文章中から句読点や符号を含めて五十四字で抜き出して、その初めと終わりの五字を書きなさい。

(五) 国語の授業で上の文章を読み、「ある共通の問題」について考えることになった。次はある生徒の【ノートの一部】である。[ ]に入る言葉として最も適切なものを、上の文章中から四字で抜き出して書きなさい。

【ノートの一部】

○「ある共通の問題」について

- ・「知りたい、わかりたい、調べたい」
- ・「教えてあげたい、知らせたい」

↓単なる知識・情報のやりとり  
表面的で薄っぺらな議論

対話において [ ] が生じにくい

三 次の文章と【感想の交流の一部】を読んで、下の(一)～(六)の問いに答えなさい。

(一) 次の文字は、上の文章中の「光る雲」<sup>ア</sup>を行書で書いたものである。この文字の○で囲んだ①から④の部分に表れている行書の特徴の説明に合っているものとして、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。



- ①の部分は横画から左払いへ連続して書かれている。
- ②の部分は左払いから縦画へ点画を省略して書かれている。
- ③の部分は点画を省略せずに筆脈を意識して書かれている。
- ④の部分は横画から右払いへ連続して書かれている。

(二) 好きなと品詞が異なる言葉を、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

- 立派な家を建てる。
- おかしな話をする。
- はるかな時を思う。
- 大切な人と会う。

(三) A に入る最も適切な言葉を、次の1～4から選んで、その番号を書きなさい。

- 1 まちぼうけ      2 はやとちり  
3 ゆめごこち      4 やせがまん

(四) B に入る最も適切な言葉を、上の文章中から漢字二字で抜き出しなさい。

(五) 上の文章の内容に合っているものとして、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

1 Ⅰの短歌は、複数の解釈をすることができるため、Ⅱの短歌に比べて作者の思いが分かりにくい。

2 Ⅱの短歌は、人類誕生以前の時代がうたわれており、Ⅰの短歌よりも長い時間が強調されている。

3 Ⅰの短歌は、想定される複数の状況において、未来へ向かう作者の時間を感じ取ることができる。

4 Ⅱの短歌は、最後に小さくて無力な「水仙」を加えることで、より寂しさを感じることができる。

(六) 【感想の交流の一部】の  に入る最も適切な内容を、上の文章中の言葉を使って、十字以上、十五字以内で書きなさい。(句読点を含む。)

四

国語の授業で、次の古典の文章を読んで、論理的で分かりやすい話し方について話し合い、そこで出た意見を参考にして、文化祭のクラス企画について意見文を書くことになりました。次の【I】～【III】について、下の(一)～(五)の問いに答えなさい。

【I】 古典の文章

昔、孔子車に駕して其の道に行く。三人の七才なる童有り。土の城を(土をこねて作った城の模型)

作りて遊戯す。時に孔子来りて小児に告げて云はく、「小児、汝等、道を逃(お前たち)け

て吾が車を過ぐせ」と。小児等嘆きて曰はく、「未だ車を逃くる城をば聞か(言うには)

ず。城を逃くる車をば聆く」と。仍りて孔子、車を却けて城の外より過ぐ。(よけて)

敢へて理を横にせず。(聞いたことがある)  
(決して道理を曲げることはしなかった)

【II】 グループでの話し合い

(一郎) 今日、古典の文章をもとに、相手を説得する方法について話し合います。

(花子) 古典の文章には孔子と子どもの会話が書かれていますね。孔子は、子どもに道を空けるように言っています。

(次郎) 子どもは、城は車をよけることはできない、と孔子に言っていますね。孔子を説得するために効果的なのは、どういう点だったのでしょうか。

(明子) 孔子は、子どもの理屈を聞いて、本物の城でも、子どもが作った土の城でも同じ

(一) 曰はく の読み方を現代仮名遣いに直して、全て平仮名で書きなさい。

(二) 反論 とあるが、この熟語と同じ構成のもの、次の1～4の中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 入口
- 2 登校
- 3 建築
- 4 着脱

(三) 上の【I】の文章で述べられている内容に合っているものとして、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

- 1 子どもは、城を恐れて走り去った車を見たことがあると言った。
- 2 子どもは、遊びをじやまするのはよくないと行って孔子を怒った。
- 3 孔子は、三人の子どもたちに向かって、城に案内するよう命じた。
- 4 孔子は、子どもの言うことを聞いて納得し、城をよけて通った。

(四) 【II】の文章中の  に入る最も適切な語句を、【I】の文章中から十字以内で抜き出して書きなさい。(句読点を含む。)



ことだと思ったのですね。文章にも「」と書いてあります。

(二郎) 相手を説得するためには、筋道の通った話をするのが大切なのです。

(花子) 以前、国語の授業で、どういう順序で話すのかということを考えることが重要だと学びました。それに加えて、異なる立場からの反対意見も想定して、<sup>1</sup>反論を考えていくことも必要だと思います。

(次郎) 今の意見は、学級会で文化祭のクラス企画について意見を発表するときには生かすことができそうです。

(明子) そうですね。自分の意見に賛成してもらえようように発表するときには役に立ちそうです。(中略……この後も話し合いは続いた。)

(二郎) いろいろな意見が出ましたね。では、話し合いで出た意見を参考にして、学級会で発表するための意見文を書いてみましょう。

### 【Ⅲ】文化祭のクラス企画について、一回目の学級会で出た案

#### 文化祭のクラス企画について

- ・文化祭のテーマ  
「心を一つに」
- ・クラス企画の発表日時  
10月31日(土) 10:00~14:00
- クラス企画の案
  - 1 お化けやしき  
場所：教室  
内容：昔話を元にしたお化けやしきにする。お化けの姿に仮装して驚かす。
  - 2 ミュージカル  
場所：体育館ステージ  
内容：地域に伝わる伝説をテーマにしたミュージカルを演じる。
  - 3 学習成果の発表  
場所：教室  
内容：地域の伝統文化について各班で調べた内容をまとめて展示する。
  - 4 美術作品の展示  
場所：1階多目的室  
内容：文化祭のテーマに基づいた大きな美術作品を制作して展示する。

(五) 上の授業の後、文化祭のクラス企画を一つ決める二回目の学級会が開かれることになった。学級会では、希望するクラス企画について、それぞれが意見を発表した後、話し合いによって企画を決定する。あなたが希望するクラス企画を【Ⅲ】の中から一つ選び、【Ⅰ】と【Ⅱ】を参考にして、あなたの考えを書きなさい。

ただし、以下の条件に従うこと。

- 1 百六十字以上、二百字以内で書くこと。(句読点を含む。)
- 2 二段落構成とし、第一段落には、あなたが希望するクラス企画とその理由を書くこと。第二段落には、自分の希望するクラス企画に賛成を得られるような内容を、他のクラス企画一つと比較して書くこと。
- 3 題名と氏名は書かないこと。
- 4 正しい原稿用紙の使い方をすること。
- 5 〃や〓の記号(符号)を用いた訂正はしないこと。
- 6 文体は、「です・ます」体で書くこと。

国

語

注 意

- 一 問題は、四問で八ページです。
- 二 解答用紙は、この用紙です。とりはずして使用しなさい。
- 三 答えは、すべて解答用紙の指定されたところに記入しなさい。
- 四 「はじめ」の合図の後、最初にすべてのページがあることを確認しなさい。





